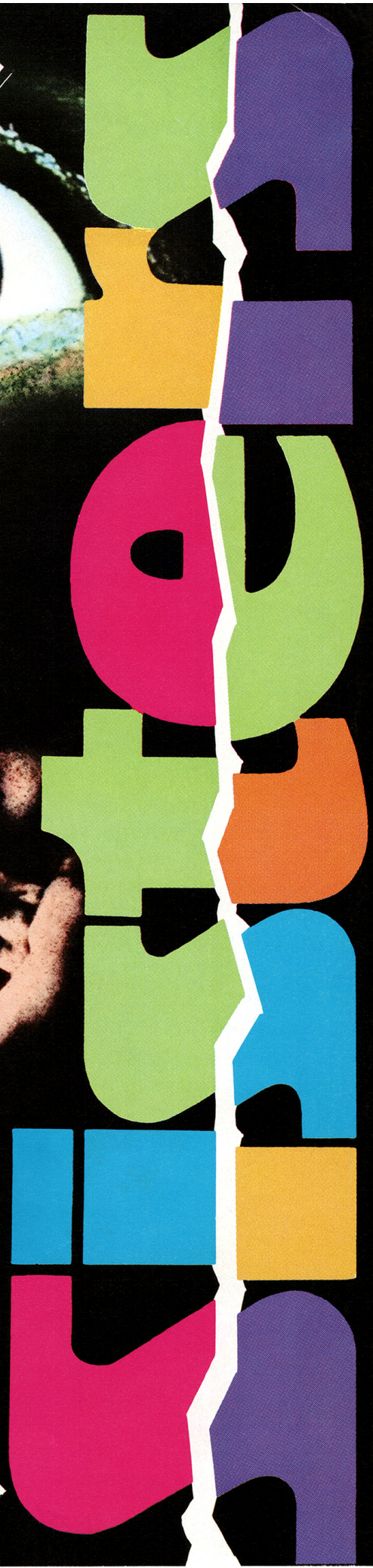




「H」≠「T」≠「R」≠「S」≠「U」≠「M」
衝撃のロードショー

あなたは見つめられますか!
異常な愛が生んだ血も凍る恐怖と怪奇、美しい一つの肉体が二つに分かれたとき—果して、何が起ったか?!



悪魔のシスター

マーゴット・キッダー ● ジェニファー・ソールト ● チャールズ・ダーニング
製作エドワード・R・プレスマン ● 監督・脚本ブライアン・デ・パルマ
音楽バーナード・ハーマン ● 東和提供 / アメリカAIP作品
〈カラー作品〉



9月衝撃のロードショー

〈東京〉

テアトル銀座 <561> 7938

新宿 武蔵野館 <354> 5670

〈カラー作品〉

悪魔のシスター

それは、現実とは思えぬほど怪奇で……
しかも身の毛もよだつ恐ろしい事件だった。



* 運命的な出会い！

この事件の発端となったのは、TVのクイズ番組で知り合った美しいファッション・モデル〈マーゴット・キッター〉と、黒人青年フィリップ〈ラルフ・ウィルソン〉との運命的な出会いであった。

二人は急速に激しい恋におちいり、その夜、ニューヨーク郊外のダニエルのマンションで、激しい快楽の一夜を共にした。だが、この二人の後を、エミール〈ビル・フィンレー〉というダニエルの前夫が、影のように後をつけていたとは……。

* 血みどろの惨劇！

翌朝、ひとり住いの筈のダニエルと、だれか若い女の口論を聞いてフィリップは目をさました。なぜか取り乱したダニエルに頼まれるまま、フィリップは町へ薬を買いに行った。その日はダニエルと妹ドミニクの誕生日と開いていた彼は、ケーキも買って部屋に戻った。その瞬間、いきなり鋭いナイフで襲った気狂いじみた女の形相。フィリップは血まみれになって息絶えた。

* 死体が消えた！

この現場を、真向いの部屋から目撃した女性記者グレース〈ジェニファー・ソールト〉は、ただちに警察へ連絡、自らもダニエルの部屋に向った。だが、死体はあとかたもなく消えていた。それは、わずかの隙をぬって駆けつけたエミールが、いっさいの証拠をぬぐいさっていたのだ。

* シャム双生児姉妹のナゾ！

当然、警察の捜査も打ち切られた。だが犯行の事実を主張するグレースは、ラーチ〈チャールズ・ダーニング〉という私立探偵と組んで、事件解明にのりだした。そして遂に、ダニエルが妹ドミニクと双子で、しかもかつては体がつながった「シャム双生児」であり、二人を切り離した医者が意外にもエミールだということを知った。そして、妹ドミニクはたしかに死亡している事実も……。

* 血も凍る20分の衝撃！

ある夜、エミールとダニエルが車で出かけるのを目撃、グレースは大胆にも尾行した。行きついた先は、精神病院の不気味な建物だった。しかし、突然グレースは若い男にとりおさえられた。このあと、グレースが見た想像を絶する異常なできごと。さらに第2の殺人。事件の行方は血も凍る最大のクライマックスへと急転回していった……。

オカルト・ブームの頂点に挑む鮮烈のショッキング・サスペンス

前売券発売中

★「エクソシスト」をしのぐ戦慄の恐怖映画

コンピューター万能の現代社会をあざ笑うかのように、恐怖と神秘の世界に誘いこむ驚異のオカルト・ブーム。「恐いもの見たさ」の心理について「エクソシスト」は爆発的反響を呼んでいるが、それ以上に、想像を絶する怪奇な事件を題材にした、凄まじい恐怖映画が、この「悪魔のシスター」だ。

★恐怖のどん底に誘いこむ怪奇な事件の連続

ニューヨーク郊外の豪華マンションで発生した殺人事件に端を発し、その現場を目撃した女性記者の追求。突然消え去った死体。事件の背後に浮びあがった美しい双生児姉妹。さらに、姉妹に倒錯的な情欲を燃やす外科医、正常な人間を狂わす精神病院など、奇怪な人物やできごとがつぎつぎに登場、観るものを恐怖のどん底に叩きこんでゆく……。

★事件のカギをにぎるシャム双生児とは



いわゆるふたごとは違い、シャム双生児は体の一部が2人で結合しているのである。その存在は非常に少なく、誕生は不幸である。映画の中にも事件のナゾを解くカギとして実在したシャム双生児が紹介〈上・写真〉されるが、必ず対称をなしてつながる姿は、やはり異様な感じを与えずにはおかない。

映画はこの結合されている肉体を切断して、2人を独立させたとき、悲劇ともいえる異常な事態を発生させていったのである。

★アメリカ映画界注目の的=AIP作品

自らのオリジナル・ストーリーを監督したブライアン・デ・バルマは、新進気鋭の作家だ。彼はヒチコックの熱烈な研究家で、映画の流れを注目すると、その傾向ぶりがよくわかり面白い。また、この映画を製作した会社のアメリカン・インターナショナル・ピクチャーズ(AIP)は、アメリカ映画界の中に独自の基盤を持ち、最近めきめき売り出しているフランシス・F・コッポラ、ピーター・ボグダノビッチ、そして近く公開される傑作「デリンジャー」のジョン・ミリアスなど、壮々たるメンバーは、すべてAIPから育っており、最も注目に値する映画会社なのである。

★この映画に寄せられた賞賛

セックスとバイオレンスが悪魔的な面白さでミックスされている。

〈米・プレイボーイ誌〉

ヒチコックの「サイコ」以来、最高の恐怖映画だ。

〈ハリウッド・リポーター誌〉

異様な凄さで迫る恐怖感。演技は一級である。

〈ロサンゼルス・ヘラルド・エグザミネー紙〉

まぎれもない財宝を発見したような最高の満足感を味わせてくれる。

〈タイム誌〉



東和提供/アメリカAIP作品